

東北地方で初開催！

仙台市と連携協定中のスケッター、9月5日(土)に

東北福祉大学仙台駅東口キャンパスでスケッター交流会を実施

介護・福祉領域に特化した謝礼付きボランティアの地域互助プラットフォーム「スケッター」を運営する株式会社プラスロボは、9月5日（15時～17時）東北福祉大学（仙台駅東口キャンパス）でスケッター交流会を実施します。スケッター経験者・希望者・ボランティア募集事業者・スケッター事務局・福祉工房等の関係者が一同に会して行う交流会です。

本会においても、これまで2回スケッターの取り組みについて、研修会等でご講演いただいております。

本会会員事業所・賛助団体会員事業所において、有償ボランティアのご活用を今後検討されている場合は、ぜひご参加ください。あまりお時間がございませんが、お申込みは添付案内の申し込みフォームから、8月31日(月)までにお問い合わせ申し上げます。

●仙台市でもこれまでに約3000件のマッチングが成立しております。

「スケッター」は、地域住民で福祉を支える令和時代の互助インフラ構築を目的に、2019年にリリースされた地域互助プラットフォーム。未経験者や資格のない方でも自分のできること（身体介助以外）で福祉に関わることができるのが最大の特徴です。運営会社の株式会社プラスロボは仙台育英学園高等学校野球部出身の鈴木亮平が創業し、全国規模の社会インフラを支える会社として成長を続けています。登録者約7割がこれまで介護福祉領域に関わったことのない未経験者層。「地域の役に立ちたい」という福祉マインドのあるユーザーが多く、あらゆる業界からの関係人口を増やし続けています。学生や10～30代の若者をはじめ、60～70代のアクティブシニアも活躍するなど多様な世代の地域人材が関わっており「関心はあるけど、関わるきっかけや手段がなかった」潜在的な関心層を新しく掘り起こしています。各地の高校や大学との連携も加速中で、東北福祉大学との連携も検討中です。

●全国30以上の自治体がスケッターと連携

スケッターは、各自治体との連携が加速しており、東京都渋谷区、東京都中野区、東京都品川区、東京都港区、東京都目黒区、東京都大田区、埼玉県川口市、埼玉県久喜市、宮城県仙台市、福島県庁、福島県郡山市、福島県白河市、福岡県北九州市、福岡県福岡市、熊本県熊本市、神奈川県小田原市、神奈川県横須賀市、神奈川県秦野市、神奈川県相模原市、神奈川県川崎市、長野県庁、長野県須坂市、長野県小諸市、北海道北見市、鹿児島県鹿児島市、滋賀県守山市、茨城県大子町などと連携しています。

問い合わせ先

株式会社プラスロボ スケッター運営事務局

MAIL：info@plusrobo.co.jp